

キリンググループ 2014年5月マンスリー・レポート

1. ビール・発泡酒・新ジャンル販売動向

- ビール+発泡酒+新ジャンル計は、昨年発売した新商品の裏返しがあり、マイナス。
- ビール計は、マイナスとなったものの、「一番搾り」は、累計でプラスと好調を継続。
- 発泡酒計は、マイナス。
- 新ジャンル計は、マイナスとなったものの、「のどごし〈生〉」計は、キャンペーンや、サッカー缶発売効果もあり、前年を上回った。

《ビール》

- ◆「一番搾り」は、コンセプトショップのオープンをはじめ、ブランドセミナーなど、一般のお客様向けイベントの実施効果もあり、累計でプラスとなったほか、缶も対前年約1割増と好調に推移。

《発泡酒》

- ◆サッカーキャンペーンなどの販売施策により「淡麗グリーンラベル」は、市場平均を上回った。

《新ジャンル》

- ◆「のどごし〈生〉」計は、100万名様に当たるキャンペーンや、サッカー缶発売もあり、プラス。6月3日発売の「のどごし〈生〉ICE」は、発売1週間で、年間販売目標の約半分を達成。

《RTD》

- ◆RTD計は、2桁のプラス。「氷結ストロング」、「本搾り」が約6割の大幅増となったほか、新商品「氷結日向夏」も上乘せとなった。

以 上